



育児サークル合同の親子体操

いっばいの笑顔で1・2、1・2



▲楽しい親子ゲーム



▲親子体操のようす

10月21日、いちばん館において、村内の育児サークル「ここにこちやいんど」と「スマイルキッズ」合同の親子体操が行われました。
今回は、浪江町のダンス教室「スタジオアップビート」の小池奈々子先生を講師に招き、楽しい遊びをしながらの親子体操のほか、ママのエアロビクスも行われ、参加した25組の親子は、笑顔いっぱい心地良い汗を流していました。

昔の気分を味わいながら

第2回みんなの広場



▲語り部の昔話を聞く参加した親子

みんなの広場は、絵本を通して親子がふれあい、ゆとりを持っていきいきと楽しく子育てができるよう支援するために村が行っています。
2回目の広場は、10月3日に「村民の森あいの沢」の民家園にて行われ、参加した20組の親子が、語り部による昔話と、昔のおやつ「すいとん」と「焼き芋」を楽しみました。

昔話では、囲炉裏を囲み、お母さんの膝の上に乗った子どもたちが、普段のテレビやゲームとは違う、表現豊かな語り手の話に聞き入っていました。
また、参加したお母さんたちも、民家園のいやされるような雰囲気子ども達の頃を懐かしそうに思い出していたようです。

えっ、ジュースにはこんなに砂糖が!?

小児生活習慣病の予防教室

近年、児童生徒の食生活が多様化するなど、大きく変化している中で、カルシウム不足や脂肪の過剰摂取などによる偏った栄養摂取、肥満病などの生活習慣病の増加や若年層化などが問題視されています。このよつな中、村では毎年小学4年生と中学1年生を対象に、生活習慣病の予防検診を行っています。

また、検診後には、健康な体づくりのために注意することなどを指導しています。
今年の指導では、清涼飲料水に含まれる糖分の量について、模型や砂糖水を使って説明し、健康な体をつくるためには、子どもの頃からの食生活が大切であることを呼びかけました。



▲予防教室のようす



▲一番砂糖が多いジュースはどれ?

被災地の復興に役立てて

草野小学校から新潟県に義援金と応援メッセージ



▲封筒の中には義援金と被災者への応援メッセージが

10月29日、草野小学校(堀川幸一校長)の児童会が、日本赤十字社飯館分区(分区長・菅野村長)へ、新潟中越地震義援金42,821円を手渡しました。
この義援金は、10月23日に発生した新潟中越地震の被災地の復興を応援しようと、児童会が自主的に呼びかけをして同校の児童や先生から集めたものです。
村長を訪ねた児童会の子どもたちは、「早く復興できるように役立ててください」とあいさつし、義援金と応援メッセージを村長へ手渡しました。受け取っ

た村長は「さつそく、皆さんの善意のお金を送らせていただきます」とお礼の言葉を述べました。
同校の先生によると、「命の大切さについて学習していた直後に発生した地震で、子どもたちの行動が早く、まとまりもありました」とのこと。
今回寄せられた義援金は、日赤福島県支部を通じて新潟県の被災地へ届けられます。